

平成19年12月14日

記 者 各 位

東京都新宿区西新宿2-7-1
MISAWA・international 株式会社
代表取締役 三澤 千代治

「200年住宅」のコンセプトモデル第2弾 HABITA「岩瀬牧場」を発売

MISAWA・international 株式会社（代表取締役：三澤千代治、本社：東京都新宿区）は、200年住宅のコンセプトモデル第2弾 HABITA「岩瀬牧場」を発売します。

MISAWA・international では200年住宅の策定に当たり、世界の古民家を研究しました。この中から、①木構造であること、②大断面木材を使用していること、③乾燥させた材であること、④地元の建材を使っていること、⑤構造を現しにしていること。以上の5ポイントの共通した様式を見出しました。これらのポイントを元に、これからの住宅のあるべき姿として次代に残る高耐久性の住宅を現代の新技术を生かしながら実現する200年住宅展開を始めました。その第一弾のコンセプト住宅である「出居民家」（でいみんか）の発売に続き、小屋裏2階建住宅の HABITA「岩瀬牧場」を発売いたします。

「岩瀬牧場」は上記5項目のほかに見出された、世界の民家の共通点を生かしながらコンセプトを策定したものです。価格は「出居民家」と同等の40.4万円／坪（税込み42.4万円）で、年間に500棟の販売を目標としています。

HABITA「岩瀬牧場」の主な特徴は次の通りです。

- ① 世界の標準になる最も多く建てられている家。
- ② 日本で初めての欧式牧場名に由来。
- ③ 作りやすい家はパフォーマンスの高い家。
- ④ 子育ての家としての200年住宅。

① 世界の標準になる最も多く建てられている家

世界の古民家研究から見出した上記5項目の建築様式の他に、いくつかのスタイルに関する共通点もあります。家は本来、それぞれの地域地方の気候や風土によって相違があるものです。しかし仕上げ材や窓などの微妙な違いこそあれ、地域を越えて共通したスタイルもあります。特に小規模の住宅に共通するポイントは、①軒先の低い平屋風であること、②急勾配切妻屋根であること、③小屋裏造りであることです。世界各地の風景を空から眺めていると、これらの共通点を持つ家が散見できます。HABITA「岩瀬牧場」は、これらのスタイルを踏襲した世界の民家に標準の小屋裏2階建の住宅です。（参考資料：1）

② 日本で初めての欧式牧場名に由来

明治維新後、明治天皇最初の東北巡幸において、福島県岩瀬郡に日本で初めての欧式牧場設営の御下命があり造られたのが「岩瀬牧場」です。オランダのホルスタインが初めて輸入され、同国から記念に贈られた鐘が唱歌「牧場の朝」の名曲を生み出すこととなります。まさに「岩瀬牧場」は、西洋のスタイルと日本の風景が融合した場所です。この地にコンセプト住宅の試行建設を行い、世界に標準の家のコンセプトに合致する名として、新住宅の由来名と致しました。また、現在の同牧場を魅力ある街づくりの場としての再生する、開発計画も推進しています。

③ 作りやすい家は、パフォーマンスの高い家

世界の標準的な家になった理由のひとつに、軒先の低さや屋根の架構など何よりも作りやすい家であることが上げられます。複雑な技術や施工方法、構造解析のない時代には、もっとも簡素なつくりで勝る安心感はありません。単純で大きな急勾配の切妻屋根によってできた小屋裏を活用する一方、家の原点である平屋使いの家。その大屋根を面として固めることにより、直接的に1階部分に力を流すことができます。また、住宅としては比較的成本の掛かる外壁も、壁量が少ないことでコスト低減ができます。ローテクで作れる、作りやすい家は、構造的にもコスト的にも費用対効果の高いパフォーマンスの高い家になります。HABITA「岩瀬牧場」は、5寸角の柱、尺梁、国産材の構造材を使いながら、標準単価が一坪あたりの40万4千円（税込み42万4千円）です。約41坪のプロトプランで本体価格を1738万円（税込み）とし、内訳としての木構造体の価格も409.5万円（税込み）と明示しています。もちろん、HABITAの標準的な仕様として、五寸角・尺梁を使用して一般的な住宅の1.7倍弱の木構造体の価格として設定しています。

④ 子育ての家としての200年住宅

住まいの大切な目的のひとつに子育てがあります。しかし、子ども部屋のあり方ばかりが子育ての家となる訳ではありません。MISAWA・international が実施してきた顧客動向調査を伴うイベントでも、これらの徴候が表れています。子育て世代である30代前後の家族に、子ども部屋の有無の是非を尋ねると半数が不要と答えました。更に子ども部屋への提言を確認した後では、子ども部屋を必要ないとする考えが大勢でした。各個室の孤立性を高め、子ども部屋という名の空間を作ることが子育ての家ではないのです。もちろん世界中に残っている小屋裏2階建では、数えることのできない程の子育てが繰り返されてきました。そして育った子ども達の多くは「実家」としてその記憶を留めています。瀟洒な住まいの中に家族が暮らした記憶こそが子育ての原点であり、200年住宅の造りも子育ての家として見直すべきことがあります。

1. 床天井を仕上げないことで、2階の子どもの気配を感じることができる。(親子間のコミュニケーション距離の短縮)
2. 親子で壁の仕上げを施したり、五寸角の柱に思い出を刻むことができる。(記憶を伝承する家)
3. 創造力を鍛えるといわれる、小屋裏の三角形の空間が子どもに独創性を与える。(天井が高いと大物が育つ)
4. 基本構造が単純な間面のつくりにして、家族構成の違いに広く対応できる。(間面スケルトン設計基準)

以上

「HABITA」とは、(habitation)を短縮化した言葉です。
人を入れる器としての家(house)から、家族のいる原点としての家(home)を経て、
さらに、環境と文化と歴史を含めた家(habitation)をあらわしています。

《当ニュースリリースに関するお問い合わせ》

MISAWA・international 株式会社

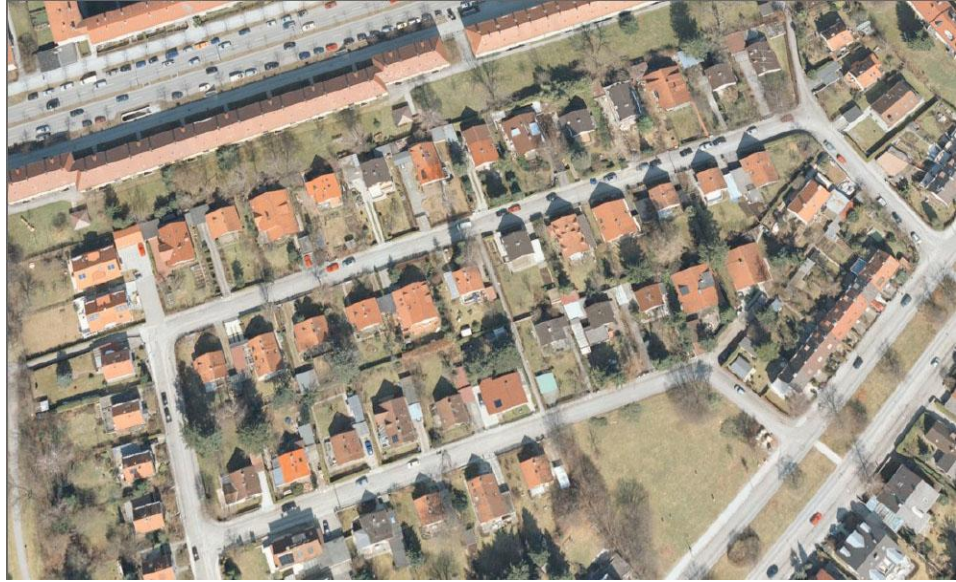
〒163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1

TEL: 03-3348-8031 FAX: 03-5326-8610

URL: <http://www.m-int.jp/>

担当者: 石川 新治 E-MAIL: sin-isik@m-int.jp

参考資料:1 空から見た世界の民家が見える街並み

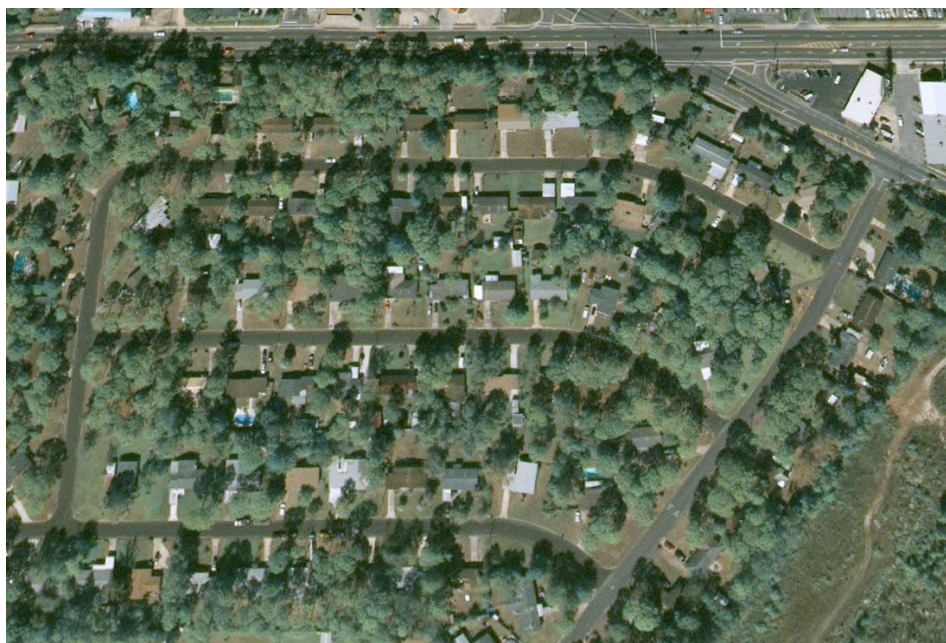


フランス

参考資料:1 空から見た世界の民家が見える街並み



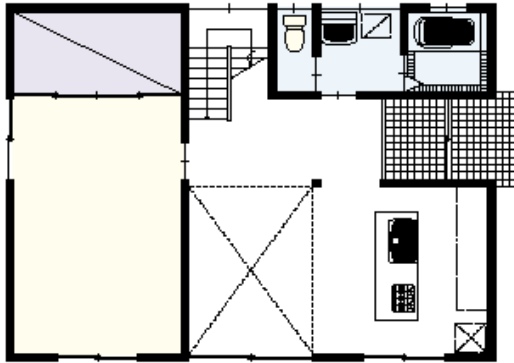
スイス



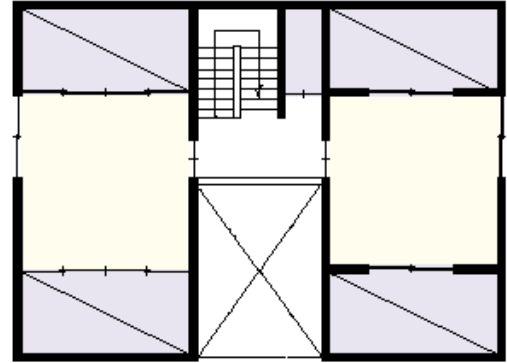
アメリカ







1F



2F

1F 62.93 m²

2F 71.21 m²

total 134.14 m² (41 坪)



※「岩瀬牧場」の報道用写真データは下記弊社サイトよりダウンロードできます。

→<http://www.m-int.jp/habita/iwase1214/>